

川崎市聴覚障害者情報文化センターだより

◎川崎市総合防災訓練報告◎

9月1日(土)防災の日に、川崎市総合防災訓練が川崎区東扇島にて開催されました。今年は9都府市の中央会場ということで、大変大規模な訓練となりました。住民同士の助け合い「共助」の訓練である「負傷者応急救護訓練」に参加し、負傷者役の聴覚障害者4名を、自主防災組織と手話サークル員が協力し合いながら救助しました。

「備える。フェスタ」(防災展示)では、聴覚障害者災害対策委員8名が、来場者の皆様に、災害時に聴覚障害者への配慮をお願いしたいことをお伝えしたり、筆談でのコミュニケーションを実際にやってみるなど、しています。

今年は災害に関わる手話単語を動画で作成し、QRコードのついたチラシとともに配布するという新たな試みも行いました。



【訓練】負傷者を発見!!



ドクターヘリコプター



会場内のモニターに一部文字表示も



「備える。フェスタ」の看板



「備える。フェスタ」での川崎市聴覚障害者災害対策委員会ブースにてテレビ神奈川の取材を受けている様子

● 聴覚障害者福祉講座 報告と告知 ●

7月8日(日)に今年度初の聴覚障害者福祉講座を開催しました。この日は、埼玉県戸田市議会議員 佐藤太信氏に「聴覚障害を持つ議員の活動について～聴覚障害を持つ議員に対する情報保障について～」というテーマでご講演いただきました。講演後は、「議会以外の活動の場で、区ろう協・手話サークルとして何ができるか」をテーマにグループワークを行いました。

今年度、残り3回の聴覚障害者福祉講座を予定しております。いずれも手話通訳・要約筆記あり、申し込みは不要です。皆さまのお越しをお待ちしております。

- ・10月14日(日)午後 川崎市生活文化会館てくのかわさき てくのホール
～身近で具体的な差別を知ろう!「差別事例分析報告書」を中心に～
- ・11月 4日(日)午後 川崎市立聾学校 体育館
川崎市総合防災訓練の取り組み報告、聴覚障害者災害訓練の報告
- ・2月 3日(日)午後 川崎市国際交流センター レセプションルーム
「小中学校の子どもたちに、聴覚障害理解を広めるための授業について考えよう」(仮)



佐藤氏の講演のワンシーン



グループワークの様子

● 全国聴覚障害者情報提供施設協議会第3ブロック会議 ●

8月29日(水)に群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザにて全国聴覚障害者情報提供施設協議会第3ブロック会議が行われました。第3ブロックのエリアは、関東地区となっており、現時点では10箇所の聴覚障害者情報提供施設となります。

今回は、今年度の研修会の内容・場所等の確認があり、その後については、それぞれの施設からの質問に対する情報交換・意見交換を行いました。

● 中原警察署の警察官対象の見学 ●

8月1日(水)、中原警察署の新人警察官3名、引率者2名の方が見学に来られました。

中原警察署は毎年、複数回の見学を行っています。事の発端は、平成23年に聴覚障害女性が川崎市中原区内で交通事故に遭い、交通事故現場での現場検証の際、聴覚障害女性が現場にいた警察官に手話通訳者の派遣を要請したのにも関わらず、手話通訳者の依頼方法が分からないために、その要請が受け付けられなかったという問題が起きたことです。特定非営利活動法人川崎市ろう者協会はこの問題を看過できないという判断の基に、警察署への抗議活動等の取り組みがあり、中原警察署としても、今後も同様の問題が発生しないようにするために、聴覚障害者への適切な対応ができるようにすることを目的とした研修会を毎年開催し、現在に至っています。

それだけではなく、中原警察署に新人警察官が配属されると必ず見学を実施する等の取り組みも続いています。

この見学では、聴覚障害者にとって必要な機器、コミュニケーションの方法、県警通訳センターに依頼する必要性など、限られた時間の中でレクチャーを行いました。この見学を通して、聴覚障害者に対する理解が深まり、適切な対応ができる警察官が増えていくことを期待したいと思います。

● 補聴器とコミュニケーションの講座 報告と告知 ●

7月19日(木)より高津老人福祉・地域交流センターを会場として補聴器とコミュニケーションの講座を開催しました。

全4回の予定でしたが、最終回の8月9日は台風12号の影響が大きいと予想されたため前日に中止を決定しました。参加者からたくさん「残念だ」という声が寄せられました。

今回は定員60名の募集に58名の応募がありました。高津区のこの会場での開催は初めてです。高津区民のみならず他の区からの申込みも多かったです。3回の講義で参加者は減ることもなく、積極的に会場の前方から着席され、講義を聞かれました。

初日に障害者更生相談所の真後講師の講義を聞き、補聴器に関する質問を出していただくのですが質問の数も多く、濃い内容で、講師は回答に苦労されたようです。参加者の熱い思いがにじみ出ていました。



高津区での様子
手話を始める前のウォーミングアップ

次回は多摩区にて10月18日(木)から毎週木曜日、全3回の講座を開催します。会場は福祉/パルたま研修室です。定員は30名です。(すでに定員に達しています)

「聞こえ」についてお悩みの方は今後ますます増えるでしょう。是非多くの方にこの講座を知っていただき、少しでも安心した生活が送れるようにしてほしいと思います。

来年の2月の講座は川崎市聴覚障害者情報文化センターで行う予定です。詳細は追って当センターのホームページやチラシ、ポスターでお知らせいたします。

補聴器とコミュニケーションの講座
聞こえないのはあなたひとりだけではありません

10月18日・25日
11月1日

会場 福祉/パルたま 研修室 (多摩区社会福祉協議会) 【裏面に地図】

対象者 川崎市内在住の耳の聞こえにくい方やその家族、関係者 定員30名

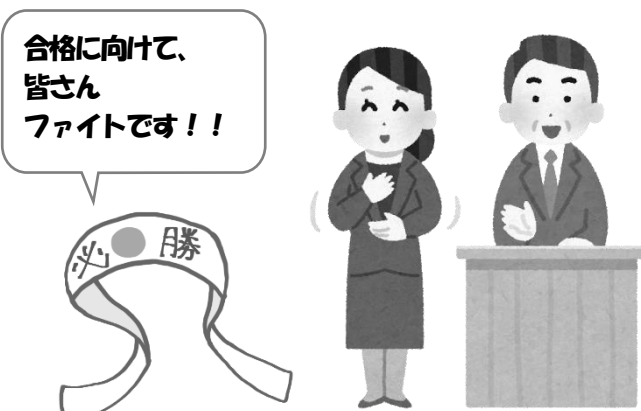
次回の講座のチラシです
センターのホームページに掲載しています。

● 手話奉仕員養成講座<基礎編>、手話通訳者養成講座<通訳Ⅲ>が開講しました！ ●

7月から手話奉仕員養成講座<基礎編>が中原区と麻生区で開講しました。それぞれ17名、22名が受講中です。来年の2月までという長期にわたる講座。手話サークルや行事参加でのろう者との交流、ろう者からの学びと合わせて、ろう者が話す手話の世界をじっくり見て学び取る有意義な時間にしていただきたいと思います。

9月30日(日)からは手話通訳者養成講座<通訳Ⅲ>も開講しました。手話通訳者養成の最終段階。今年度は11名の方が受講されています。

この季節は台風等の悪天候が心配ですが、全5日間の講座を無事に終え、12月に行われる手話通訳者全国統一試験へのチャレンジを応援しています。



● 手話通訳者現任研修 ●

8月24日（金）に日本学術振興会、東京学芸大学の高嶋由布子さんを講師に迎え、「手話通訳者のための手話言語学を考える」と題し研修を行いました。「言語とは」「通訳とは」「文化とは」といった核心のテーマについて日本語の事例を多く取り入れ、ご講演いただき、実感を伴い楽しく伺うことができました。

しかしそこから学ぶべき「手話とは」「手話通訳とは」「ろう者の文化とは」といった内容、また手話が置かれている社会状況、言語のパワーバランスについては考えさせられることが多くあり、その難しさをあらためて感じました。登録者に加えろう者6名の参加もあり、一緒に学ぶことができたのは私たちにとって心強いことでもありました。



● 要約筆記者現任研修 ●

6月21日（木）10時～12時、川崎市登録要約筆記者現任研修を実施しました。

テーマは「平成29年度 川崎市聴覚障害者情報文化センター（以下：センター）事業報告」。特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会（以下：川難聴）からも2名の方にご参加いただきました。

センターの事業全体を理解することを目的に、現在の職員配置、相談・派遣事業の利用件数や事業内容、ビデオ制作、センターで実施している様々な地域支援事業（聴覚障害者福祉講座・補聴器とコミュニケーションの講座など）、センターで開催している委員会について説明しました。

最後の質疑応答では、要約筆記関連事業のことだけでなく、他の事業についても活発にご質問やご意見が出されたのが印象的でした。センターの事業がよりよい事業となるようにこれからも皆様と一緒に頑張っていきたいと思えます。

● 災害訓練についての学習会 ●

6月29日（金）に行われた、災害訓練についての学習会（聴覚障害者災害対策救援神奈川県域本部主催）の講師を務めさせていただきました。県域の役員を務められている方々にご参加いただきました。川崎市聴覚障害者災害対策委員会では、毎年、川崎市総合防災訓練に参加している他、聴覚障害者災害訓練を実施しており、これらの取り組みについてお話しさせていただきました。平時に出来ないことが災害時に出来るわけがない、と言われます。常日頃から聴覚障害者の理解促進に努めることが、実際に災害がおきた時の聴覚障害者の安心安全につながるの考えを基に「啓発」に重きを置いた活動を行っています。発災直後は通訳者たちが現場行くことが困難になることから、少しでも地域住民の方々やボランティアの方々との協力を得られるよう、訓練を積み重ね、普及啓発を進めていきたいと考えています。様々な知恵を出し合い、県域の方々とも情報交換しながら、聴覚障害者の孤立を防ぎたいと思えます。

● 麻生区聴覚障害者協会主催の講演会 ●

8月5日（土）、麻生区聴覚障害者協会主催の講演会の講師として出向きました。講演テーマは「川崎市の聴覚障害者福祉のあゆみ」です。

ろうあ運動の歴史ではなく、川崎市の聴覚障害者福祉の歴史をお話しました。1974年（昭和49年）に第1回手話講習会を開催していますが（他の記録では1972年と載っており、どちらが正しいのかは不明）、その講習会が川崎市として最初の聴覚障害者福祉と言えます。その講習会がきっかけで、手話サークルが設立し、手話通訳派遣事業が始まっています（1975年）。その年の11月に、川崎市として最初の聴覚障害者福祉の職員として「ろうあ者相談員」を配置しています。その後、長い時間をかけて、職員が少しずつ増え、現在の職員体制になったことと、その当時の職員の名前も出しながら、参加者と確認し合いました。

聴覚障害者福祉は一朝一夕で発展するものではなく、ろうの先人達が差別や偏見と闘い、気の遠くなるような運動を積み重ねた結果、現在の聴覚障害者福祉の姿になります。そのことの理解の上、少しでも聴覚障害者福祉が前進できるよう参加者と一緒に取り組んでいきたいと思えます。

● 意思疎通支援担当者研修会 ●

7月25日(水)～27日(金)の3日間、京都にて開催された、特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会主催の意思疎通支援担当者研修会に参加してきました。研修会には、全国で手話通訳や要約筆記の派遣コーディネートを担当している方々が集まり、登録手話通訳者のピアスーパービジョンや電話リレーサービスなどについて、講義やグループ討議を通じ、活発な意見交換が行われました。

今後意思疎通支援事業がどのように変化していくのか、また、様々なことが変化していく中でも、変わらず大切にしていけるべきことは何かなど、全国の意思疎通支援を担う方々の意見を聞き、あらためて考えるよい機会となり、得るものの多い3日間でした。

● 関東ろうあ者相談員連絡会 ●

7月31日(火)、聴力障害者情報文化センター(東京都目黒区)で平成30年度第2回関東ろうあ者相談員連絡会が開催されました。

今回は、都民総合法律事務所弁護士をされている田門浩氏をお招きし、「司法との連携のために事例から学ぶ法律」というテーマでご講演いただきました。債務の相続、相続の種類、相続について相談を受けた際の対応、弁護士との関わり方について学ぶことができ、有意義な時間となりました。また、全日本ろうあ連盟が進めている、旧優生保護法による強制不妊手術の調査に関して情報交換を行い、連絡会は終了しました。

● 24時間テレビチャリティー 委員会より寄贈 ●

公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会より、テレビの字幕と映像を同期させる「テレビ字幕コントローラー」(株式会社スピードワープ研究所)の寄贈をいただきました。

当センターのロビーに設置していますので、興味のある方は職員まで声をお掛けください。



テレビ字幕コントローラー CCR-1
(テレビ録字機能搭載)

● かわさき Wi-Fi 設置 ●



かわさき Wi-Fi のルーターを設置いたしました。どうぞ、ご活用ください。

かわさき Wi-Fi の詳細については、以下のサイトに記載されています。

川崎市のHPより

<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000052336.html>

健康学習会予告

平成30年度ろう者・難聴者のための健康学習会「目の健康について～白内障とは～」が行われます。講話とグループワークを行います。興味のある方はどうぞ。

講師：関東労災病院 眼科
視能訓練士 久保 幸治 氏

日時：11月13日(火)
13時30分～16時まで
(13時より受付開始)

場所：川崎市聴覚障害者情報文化センター
研修室

対象：川崎市在住のろう者・難聴者
(手帳の有無は問いません。)

定員：30名(予約制・先着順)

申込締切：11月8日(木)まで

【年末年始センター休館のお知らせ】

平成30年12月29日(土)～
平成31年1月3日(木)まで

- 手話通訳・要約筆記派遣受付について
 - ろうあ者相談・難聴者相談受付について
- 年末：12月28日(金)16時まで
年始：1月4日(金)9時から

※センター休館期間は、FAXも電話もつながりません。急病のときは、FAX119かWEB119を利用しましょう。

ビデオ通信 67

●センターよりお知らせ



貸出ベスト5

(平成30年7月1日から平成30年9月30日現在)

順位	ジャンル別	本数
1位	センター制作分	166本
2位	手話	9本
3位	教育・教材	8本
3位	手話学習	8本
5位	記録・報道	6本

●データ紹介

	7月	8月	9月	合計
来所者数	1,338	1,311	1,589	4,238
ビデオ貸出数	57 (52)	74 (56)	72 (58)	203 (166)

※ビデオ貸出数の下の()内の数は、センター制作分の貸出数です。

●平成30年度聴覚障害者向け映像ライブラリー事業のDVDが納品されてきました。登録作業が完了し、貸し出しを行っています。

●おすすめDVDの紹介

劇団あしたの会第12回公演「あしたを拓く」(字幕付き)

45年前、ろう学校は手話を否定し、口話教育を押し付け、ろう者から手話を奪ってきた。これに反発したろう生徒が授業拒否を起こした。そして、京都府ろうあ協会・同窓会による『3.3 声明』の発表につながる。「手話で語る、手話で学ぶ・・・」ろう者としての当たり前前の権利を取り戻すたたかいを舞台化したものです。

演劇を通して当時の雰囲気を感じることができますので、興味のある方はぜひご覧ください。

<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。
月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(□ 休館日)

平成30年10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

平成30年11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

平成30年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

平成31年1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

【編集後記】

金木犀の香りがたけなわとなっているこの頃。この季節になると、台風の動向も心配になってきますね。台風は発生順に番号が付けられますが、それと同時に名前も付けられるそうで、前回発生した台風24号はベトナムの花の意味を持つ名前の「チャーミー (Trami)」だったそうです。台風の名前は予め決められていて、気象庁のHP内のホーム > 知識・解説 > 台風について > 台風の番号の付け方と命名の方法 のページに載っています。それぞれの国の個性が出ています。興味のある方はどうぞ。(O.S)

※当センターに駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。



川崎市聴覚障害者情報文化センター

代表 (T) 044-798-8800 (F) 044-798-8805

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町14-16

(交通機関 / 東急東横線 元住吉駅下車徒歩 10分)

(部屋の貸出等管理) (T) 044-798-8800 (F) 044-798-8805

(ろうあ者相談・難聴者相談) (T) 044-798-8802 (F) 044-798-8804

(手話通訳・要約筆記派遣) (T) 044-798-8801 (F) 044-798-8803

ホームページ <http://www.joubun.net/>

ツイッター <https://twitter.com/DKawasakiJoubun>

フェイスブック <https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>

ツイッター 時々つぶやいています☆

<https://twitter.com/DKawasakiJoubun>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>